

令和6年度 指定管理施設の管理運営に関する月次評価について

施設所管課名：福祉こども部子育て支援課

1 施設概要

施設名称	中央こども園病児・病後児保育センター
指定管理者名	ル・アンジェ株式会社
指定期間	令和4年4月1日～令和8年3月31日（5年間）

2 月次評価

評価月	評価
4月	<p>1. 4月30日に現地確認を行い指定管理者から運営状況を聴取し協定書に基づいた運営が行われていることを確認した。4月26日に出席したすくすくかんの担当者会議について、会議概要の報告を受けた。令和6年3月25日に行われた巡回指導でのアドバイスを受け、午睡時の呼吸チェックについて改善されたことを確認した。（スタッフごとに色を決め、チェック欄に担当スタッフの色のマーカーで色を塗り、どの職員が確認したかが分かるように変更）</p> <p>2. 4月の利用実績</p> <ul style="list-style-type: none">・利用者 病児 延べ27人 病後児 延べ4人・キャンセル待ち中利用できなかった数 病児 延べ3人 病後児 延べ1人 <p>4月の利用 前年同月の延べ利用者数よりも大幅に増加した。（対前年度比+20人）前半はインフルエンザの病児が多く、後半はRSウイルスの病児が多かった。</p>
5月	<p>1. 5月31日に現地確認を行い指定管理者から運営状況を聴取し協定書に基づいた運営が行われていることを確認した。すくすくかん全体の機械警備の開錠について、誤発報させてしまった状況を確認した。全職員に再度開錠の時間や業務手順を周知し、確認したとのこと。</p> <p>2. 4月の利用実績</p> <ul style="list-style-type: none">・利用者 病児 延べ25人 病後児 延べ2人・キャンセル待ち中利用できなかった数 病児 延べ2人 病後児 延べ0人

	<p>5月の利用</p> <p>4月から、利用者数は横ばいとなっている。主には、風邪症状（上気道炎、咽頭炎）の病児が多くみられた。RS ウイルス、アデノウイルス感染症、胃腸炎の病児もいるが、流行している様子は見られない。1歳、2歳代の利用が多かった。（病児 延べ20人、病後児 延べ1人）</p>
6月	<p>1. 6月28日に現地確認を行い指定管理者から運営状況を聴取し、協定書に基づいた運営が行われていることを確認した。6月25日にすすくかん全体の避難訓練に職員4人、病児の子2人（保護者の了承あり）で参加した報告を受けた。今回は、地震からの津波警報で垂直避難する訓練。実際に避難してみても、所要時間や課題などについて聞き取った。</p> <p>2. 6月の利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者 病児 延べ24人 病後児 延べ8人 ・キャンセル待ち中利用できなかった数 病児 延べ3人 病後児 延べ1人 <p>6月の利用</p> <p>6月の延べ利用者数は4月5月から微増し、32人（病児 24人 病後児8人）となった。特に、6月は病後児の利用が増加している。風邪症状（上気道炎、咽頭炎）の他、アデノウイルス感染症の病児、病後児が増加した。</p>
7月	<p>1. 7月30日に現地確認を行い指定管理者から運営状況を聴取し、協定書に基づいた運営が行われていることを確認した。エアコン清掃と害虫駆除については、滞りなく作業が行われたとの報告があった。</p> <p>2. 7月の利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者 病児 延べ37人 病後児 延べ1人 ・キャンセル待ち中利用できなかった数 病児 延べ8人 病後児 延べ1人 <p>7月の利用</p> <p>7月の延べ利用者数は37人と今年度最多となった。特に、手足口病の病児が多く、また同じ保育園等を利用しているケースが多くみられた。その他は主に風邪症状（上気道炎、咽頭炎）の病児が多かった。なお、夏休みの影響か、7月30日頃から予約件数が落ち着きつつある。</p>
8月	<p>1. 8月29日に現地確認を行い指定管理者から運営状況を聴取し、協定書に基づいた運営が行われていることを確認した。毎月実施している病児・病後児保育センターだけの避難訓練を8月29日に行ったことを確認した。夏休み期間で利用者が少なかったため、細かいところの清掃を行ったとの報告があった。また、職員の研修を実施したことを確認した。</p>

	<p>2. 8月の利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者 病児 延べ15人 病後児 延べ1人 ・キャンセル待ち中利用できなかった数 病児 延べ0人 病後児 延べ0人 <p>8月の利用</p> <p>例年と同様に、お盆前後の1～2週間利用者数が減少した。病後児の利用は少なく、病児の利用が多かった。上気道炎のほか、アデノウイルスやヒトメタニューモウイルス感染症の病児の利用が多くみられた。</p>
9月	<p>1. 9月27日に現地確認を行い指定管理者から運営状況を聴取し、協定書に基づいた運営が行われていることを確認した。9月3日にすすくかん全体で実施する広域避難訓練に利用者2人と職員2人が参加したとの報告があった。また9月22日には、ル・アンジェ株式会社としての研修(コミュニケーション研修)に参加したとのこと。9月は全体として大きなクレーム等はなく、適切に管理させていることを確認した。</p> <p>2. 9月の利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者 病児 延べ19人 病後児 延べ2人 ・キャンセル待ち中利用できなかった数 病児 延べ4人 病後児 延べ1人 <p>9月の利用</p> <p>一時的に落ち着いていた、手足口病の病児が再び増加した。夏休みが終了したが、利用者数は7月並みまでは戻らず、全体で延べ21人となった。9月は3連休が2週続いたこともあるので、10月にかけて利用者数の変化を注視していきたい。</p>
10月	<p>1. 10月31日に現地確認を行い指定管理者から運営状況を聴取し、協定書に基づいた運営が行われていることを確認した。中央こども園と合同で避難訓練を実施。利用者2人と職員3人が参加したとの報告があった。またSDGsの取り組みとして、おもちゃや絵本などはリユース品や在庫処分品から選ぶようにし、消耗品などもエコマークの物を選ぶようにしているとの報告があった。クレームなどなく運営できたことを確認した。</p> <p>2. 10月の利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者 病児 延べ28人 病後児 延べ6人 ・キャンセル待ち中利用できなかった数 病児 延べ4人 病後児 延べ1人 <p>10月の利用</p> <p>利用者は、例年並みに戻った。一方でキャンセル待ちも増えており、キャンセル待ち後利用可となったものの、辞退した件数が10件となった。</p>

	<p>このことから、キャンセル待ちとなった時点で次の預け先を検討する保護者が多く、利用可となったとしても実際の利用につながらないことがわかる。</p> <p>主な症状としては、手足口病の流行が続いており、胃腸炎や上気道炎の病児も見られた。</p>
11月	<p>1. 11月27日に現地確認を行い指定管理者から運営状況を聴取し、協定書に基づいた運営が行われていることを確認した。すすくかん全体で実施された広域避難訓練に参加し、常葉中学校へ避難し、その後、AEDと消火器の使い方について病児・病後児保育センターの職員で研修を実施したとの報告があった。12月には、横須賀市の上級救命救急研修受講を申し込み済みであり、1月に行われる予防救急講習会も、今後申し込み予定とのこと。</p> <p>2. 11月の利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者 病児 延べ25人 病後児 延べ4人 ・キャンセル待ち中利用できなかった数 病児 延べ3人 病後児 延べ0人 <p>11月の利用</p> <p>利用者数としては、病児・病後児合わせて延べ29人と、比較的落ち着いた月となった。利用者の疾患としては、インフルエンザが出始めた。月の前半はまだ手足口病の病児が多く、後半になるにつれてインフルエンザやRSウイルス、上気道炎などの病児が多くなった。</p>
12月	<p>1. 12月27日に現地確認を行い指定管理者から運営状況を聴取し、協定書に基づいた運営が行われていることを確認した。12月19日に横須賀市の上級救命救急講習を1名受講したとの報告があった。2月にも予約の状況等により別の職員が受講予定とのこと。2月にすすくかん全体で実施する総合防犯訓練（不審者対応）が実施される予定。</p> <p>2. 12月の利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者 病児 延べ23人 病後児 延べ2人 ・キャンセル待ち中利用できなかった数 病児 延べ6人 病後児 延べ0人 <p>12月の利用</p> <p>利用者数としては、病児・病後児合わせて延べ28人で、昨年度と同程度となった。（昨年度比+3人）利用者の傾向としては、0歳～2歳児よりも、年長児以上の利用が多かった。疾患としては、疑いを含め、インフルエンザA型の病児が最も多くなった。</p>

1月	<p>1. 1月28日に現地確認を行い指定管理者から運営状況を聴取し、協定書に基づいた運営が行われていることを確認した。1月29日に横須賀市の予防救急講習会に参加したとの報告があった。実技の受講が難しい職員等については、オンラインの講習を3月に受講予定とのこと。その他、中央こども園病児・病後児保育センターとしてのSDGsの目標を5つ定めたことを確認した。</p> <p>2. 1月の利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者 病児 延べ22人 病後児 延べ5人 ・キャンセル待ち中利用できなかった数 病児 延べ1人 病後児 延べ0人 <p>1月の利用</p> <p>例年1月は、年末年始休業の影響から利用再開が遅くなり、利用者数が減少することが多いが、今年度は昨年度と比較して全体の延べ利用者数が+12人の27人となった。疾患としては、インフルエンザの病児が減少し、上気道炎が多く見られた。</p>
2月	<p>1. 2月28日に現地確認を行い指定管理者から運営状況を聴取し、協定書に基づいた運営が行われていることを確認した。2月13日にすすくかん全体で実施の防犯訓練に参加したという報告があった。また、2月28日にはすすくかん事業者会議があり、中央こども園園長が受講した減災セミナーの情報共有があったとのこと。その他、外傷救護講習会の受講と、AEDステーション標章交付申請予定との報告あり。職員の資格条件を確認して必要な研修を受講のうえ、中央こども園病児・病後児保育センターから申請を行う。</p> <p>2. 2月の利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者 病児 延べ17人 病後児 延べ1人 ・キャンセル待ち中利用できなかった数 病児 延べ4人 病後児 延べ1人 <p>2月の利用</p> <p>2月は、感染症の流行が落ち着いたためか、利用者が減少した（対前月比△9人）。インフルエンザの病児が減少した一方、胃腸炎の病児が増加しており、上気道炎等の診断でもお腹の調子が悪い利用者が目立った。</p>
3月	<p>1. 3月31日に現地確認を行い指定管理者から運営状況を聴取し、協定書に基づいた運営が行われていることを確認した。3月10日にオンライン救急講習会（乳児）を受講し、4月には上級救急救命講習を受講する予定。これをもって、AEDステーション標章交付申請すること。その他、オンラインの各種研修（心の健康や保育防災の基礎等）を受講したとの</p>

	<p>報告があった。次年度は、絵本の時間を意識して取り入れていく計画をしているとのこと。</p> <p>2. 3月の利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者 病児 延べ19人 病後児 延べ3人 ・キャンセル待ち中利用できなかった数 病児 延べ0人 病後児 延べ0人 <p>3月の利用</p> <p>うわまち病院病児・病後児保育センターの移転に伴う増減は、今のところ見られていない。月の後半は、卒業や春休み等の影響か利用者が少なくなった。</p> <p>利用者はここ数か月多少の増減はあるものの、平行線上に推移しており、インフルエンザの病児が減少傾向だが、2月と同様に胃腸炎や上気道炎の病児が増加している。(対前月比+4人)。</p>
--	--